

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 2月25日

事業所名 障がい児童デイサービスセンターくれよん2

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			部屋は広く皆がそれぞれに活動している	部屋は広く活発な遊びもできるが、間仕切りがカーテンのみのため細やかな配慮が必要
	2 職員の配置数は適切である	○			定員10名に対し適切	今後も事前にシフト表を基に安全に過ごせるよう話し合い検討し障がい特性に応じた適切な配置を行う
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			2階のデイルームへの移動は階段とエレベーターがある	2階のデイルームへは概ね階段を使用するが、上り降りをする際は十分に安全に配慮し転倒防止に努める
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		PDCAサイクルを活用していないが、話し合いの場を毎日持ち改善するようにしている	常日頃から職員の意見を広く聞き、改善に向け話し合いを持ち実行していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今年度から始めた	毎年1年を振り返り改善していくために年に1回アンケート実施を行う
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			掲示や紙媒体で公表	今年度より、年1回掲示及び紙媒体で公表する
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は行っていない	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修参加を心がけている	外部・内部の研修参加及び視察を行い改善していく	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			会議を持ち一人一人に適した計画書を作成している	今後も児童発達管理責任者がサービス担当者会議に出席しアセスメントを行いニーズを把握し児童個々に適した計画書を作成していく
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化されたアセスメントシートを使用している	今後もアセスメントシートを元に情報を収集していく
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			話し合いを行いプログラムを立てている	今後もチームで相談して決めていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			放課後と休校日にわけ過ごし方を考えている	グループ活動や個々に対しても工夫はしているが、好きな活動に執着する場面がある為他の活動に興味を持ってもらうような工夫を今後もしていく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		平日・休校日に応じて課題の設定はしている	細やかに設定はしていないので今後の課題
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個々に合わせて活動を適宜組み合わせ計画作成している	今後も個々の状況に応じた計画作成をしていく
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			シフト表を活用して役割分担をしている	職員の支援スキルにあった分担を行い、より安全に過ごしていただくようにしていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援内容や子供の様子を話し合うようにしている	翌日の支援に繋がるよう一日の気付いた事などを話すよう心がけている(今後も継続)
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○		様子が分かるように出来るだけその日の様子を書くよう心がけている	記録を支援の検証や改善に繋げる習慣をつけていく
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6カ月毎にモニタリングを行い見直しをしている	現在同様、見直しをする時は支援会議等を行い判断していく	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			自立支援活動、創作活動、余暇の提供はできている	今年度は地域交流の機会がなかったため、今後は計画をしていく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達管理責任者が参加し会議での情報や課題を持ち帰り皆で共有するようにしている	今後も、児童の普段の様子を十分に伝え更なる課題の検討ができる職員が参加し適切な支援に繋げる
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			迎え時に様子を聞いたり電話にて下校時間や行事等の確認をしている	学校との情報共有や連絡調整を適切に行い、安心して利用できる環境を作っていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				看護師体制はない	看護師体制がないため、医療的ケアの受け入れはしていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			契約時、情報収集と今後の支援への助言を頂くよう努めている	適切な支援の提供ができるよう、各専門機関と連携し児童の理解に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			障害福祉サービス事業所より依頼があった場合提供している	途切れない支援を目指し、適切な支援をそれぞれの事業所で提供できるよう各関係機関と連携を図っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門機関と連携し助言を受けている	今後も個々にあった適切な支援を行うために必要に応じて専門機関と連携を図っていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	現在、交流する機会はない	今後は、交流する機会が作れるよう検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			地域ケア会議や定例会に参加	今後も職員のスキルアップのため積極的に参加するようにしていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳を活用している	連絡帳や送り時に努めて話すようにしている。緊急時は電話対応している。今後はもっとゆとり話す機会を作っていくようにする。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレント・トレーニングの支援は行っていない	保護者からの相談があった時は専門機関と連携し対応する体制は整えている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に重要事項説明書で行っている	今後も、内容の変更があった場合は随時説明を行っていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者からの相談に応じている	保護者から、気軽に相談していただける事業所づくりに努める
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	保護者会などの開催は行っていない	今後の検討課題
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			重要事項説明書に記載し周知している	苦情等があった場合は迅速かつ適切に対応するよう努めている。また、それを検討し改善に繋げている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○	お便りの発行は少ない	今後は定期的に発行し情報等の発信をしていく
	35	個人情報に十分注意している	○			雇用契約時に誓約書を取り交わしている	職員会議等で折に触れ職員に伝えている(今後も継続)
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児童個々に応じたコミュニケーションをとっている	今後も、個々の障がい特性を踏まえ意思の疎通や情報伝達の時は十分に配慮していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	施設内の他の事業所の人達との交流はある	介護事業所等の行事に参加し交流する機会を作っていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急時対応は計画書に記載	災害防止(台風)対応や感染症対応は必要に応じて連絡している(今後も継続)
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年1回以上避難訓練に参加	施設全体で行うため児童が参加できない時があるので今後はくれよん独自でも計画する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回以上研修会へ参加し、日々虐待防止に努めている	全体会議に参加(必須)と職員会議内でも研修をしている(継続)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在車中での転倒防止に固定ベルトを使用するにあたり計画書に記載し了承を得ている	利用者の障害特性を踏まえ安全を重視しながらも、本児・保護者の意思を確認しながら納得いくまで話し合い合意の上で計画書に記載し了承を得るようにしていく。さらに、常に改善方法を検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		ご家族と相談して対応していく体制作り	現在食物アレルギーの方は利用されていないが、利用される場合はご家族と相談していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作成後回覧周知している	今後は事例検討して改善に繋げる